舟形町わら細工愛好会
やまがた雪文化マイスターに認定

「舟形町わら細工愛好会」（代表八鍬朝吉さん）は「長沢親和会」が前身であり、地域の親子に、わら細工や昔の遊び方を教えるなどの活動を30年ほど行なっていました。その中から、わら細工が得意な仲間が集まり設立したのがこの愛好会です。

わら細工は、農家の農閑期の副業として行われてきたもので、「わらじ」や「みの」などが作られてきました。愛好会は毎年11月から3月までの冬期間、生涯学習センターで、毎週火曜日にわら細工教室を開催しています。町内や県内各地から、その技術を学ぼうと参加者が集まります。また、技術だけではなく、製作したぞうりを町内の子どもたちに寄贈するなど、雪国文化を若い世代へ伝承する活動も行なってきました。

これらの活動が評価され、山形県より「やまがた雪文化マイスター」に認定されました。県では、雪に親しむ気運の醸成に向けて、雪国文化の振興継承や、冬の楽しさの創出に携わる方々を「やまがた雪文化マイスター」として認定し、活動の普及促進を進めています。

Cover Person ～表紙の紹介～

12月8日、舟形ほほえみ保育園で発表会が行われました。園児たちは一生懸命練習した歌やダンスを披露。観客からは多くの拍手が送られ、にぎやかな会となりました。

広報ふながた 12

もくじ ～Contents～

p3…… ふなぴく

p4…… 2018 ふながたまち 重大ニュース

p6…… おかえり！ 孫プロジェクト

p10 … ありがとう　ナガエモン　～舟恋 拡大版～

p11 … 100歳元気プロジェクト

p12 … 町職員の給与等のあらまし

p14 … まちのわだい

p15 … ふれあい広場
- 資格取得を応援します ～舟形町資格取得支援事業～
- 第32回新春町民なわとび大会参加者募集・公共施設等の年末年始休業のお知らせ

p18 … 青いシグナル、ぽっぽ舎通信

p19 … 舟恋、カメラアングル、戸籍の窓

p20 … シリーズ「縄文の風」

町長コラム
災い転じて福となす

今年の世相を表す漢字「今年の漢字」に「災」が選ばれました。西日本や北海道で大規模な災害があり、町でも8月に2度にわたる豪雨災害により、甚大な被害が出ました。災害復旧費も15億2千万を超え、財政的にも厳しい状況でしたが、公共土木、農林災害とも局地激甚災害に指定される見込みで、補助率も公共土木災害は75％に、農林災害は97.4％に上がる予定です。また、12月交付の特別交付税も2.7倍となりました。

さらに、先日、山形大学の学生4名（うち五橋中学校出身1名）が来庁し、災害復旧に役立ててほしいと、5万円の寄付をいただきました。「エリアキャンパスもがみ」をきっかけに、舟形町で育てた農作物を、大学祭の「舟形マルシェ」で販売したお金だそうです。学生たちが町との縁を大事にしてくれたことに感動し、心から感謝申し上げます。そのほか、多くの方々から舟形町に対し熱い想いをいただきました。この絆（きずな）をこれからも大事にしていきたいと思います。

来年が、皆様にとって素晴らしい年になりますよう、心よりご祈念申し上げます。

森　富広